※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力で上書きして下さい。 <u>(一財)全国地域情報化推進協会 御中</u> 報告日 2021年9月10日 派遣決定番号 地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目) 地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。 記 1. 申請団体情報 1-1. 申請団体 団体名 鹿児島県 代表者名 塩田・康一 総合政策部デジタル推進課 担当者部署 099-286-2388 連絡先電話番号 担当者役職 主事 担当者氏名 若松 容子 連絡先E-mail 住所 890-8577 鹿児島県鹿児島市鹿児島市 1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力) 団体名 連絡先部署 担当者氏名 連絡先E-mail 連絡先電話番号 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望 支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。 アドバイザー |前田 みゆき 大変よい 評価 本年7月に総務省「自治体DX推進手順書」が公表されたところであるが、自治体情報システムの標準化・共通化の進め方など 上記評価の理 について各市町村においてどのように取り組んでいけばよいか、標準化・共通化のこれまでの経緯から今後の方向性について、 由(どのよう わかりやすく御講演いただきました。 なところがよ かったか等詳 細に) 特にありません。資料もわかりやすく、丁寧に御説明いただきました。 アドバイザー への要望事項 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績 内休憩時間(分) 派遣日 開始時刻 終了時刻 活動時間(分) 13時30分 15時30分 120 3-1. 活動 2021年9月3日 派遣形態 講演(オンライン) 4.報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可 掲載許可 ○掲載可 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果 5-1. 支援を受けた対象者 属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】 人数 県及び市町村のDX推進部門, 行革担当部門の担当職員 109 人 5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果 市町村によって、ICT化の状況は異なっているが、「自治体DX推進手順書」に基づき、推進体制 事業の課題・問題点 が十分と言えない自治体においても、全国統一的な取組みとなるシステムの標準化・共通化、オンラ (具体的にご記入下さい) イン化を着実に取り組まなければならいとされている。しかし,一部市町村では人材不足等の問題か ら、ICT化に向けた取組みへの対応が困難との声が上がっており、システム標準化等の取組みにお いても、今後、市町村間で2極化が進むことが予測される。 自治体システムの標準化・共通化に向け,これまでの経緯や今後の動向等を把握した上で,具体的な 支援により目指す成果 取組を行っていく。 (具体的にご記入下さい) 「自治体システムの統一・標準化について」をテーマに、「自治体システムの進化と標準化」、「自 アドバイザーに支援を受けた内容 治体システムの統一・標準化」についてそれぞれ解説していただいた。 (具体的にご記入下さい) 自治体システムの標準化・共通化の背景等が理解できた。 支援を受け改善又は解決された内容 今後各市町村において,実際の取組につなげていく。 (具体的にご記入下さい) 最も当てはまるものをリストより選択下さい。 具体的な成果物 ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 自治体システムの標準化・共通化については、国において検討段階の部分もあるため、最新の情報を 改善又は解決されなかった内容 得ながら取り組みを進めていく必要がある。 持ち越しとなった内容

講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果

講演内容の満足度は,「大変満足した」,「満足した」の回答が9割以上。 今後の活動の参考になったかの問いには,大半が「大変参考になった」,「参考になった」の回答が

④予算以外で、今後取組む事項がある

についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)

市町村向けの勉強会を継続し、自治体DX推進手順書に基づいた取組を進めていく。

アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。

最も当てはまるものリストより選択下さい

9割以上。

(具体的にご記入ください)

アンケートの内容と分析結果

5-3. 今後の計画

事業の最終的な目指す姿

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



